

関市消防委員会議事録

○日時

令和7年11月18日（火曜日） 午前 9時55分 開議
午前10時45分 閉議

○場所

関市役所 大会議室

○出席委員

委 員 長	波 多 野 寿 啓	副 委 員 長	福 地 潮 人
委 員	足 立 秀 人	委 員	土 屋 泰 弘
委 員	磯 野 勝 美	委 員	安 田 すみ子
委 員	中 嶋 亘	委 員	河 村 充 浩
委 員	菊 山 讓		

○欠席委員

委 員 後 藤 ル ミ 子

○説明のため出席した者

市長公室長	相 宮 定	危機管理課長	森 啓一
危機管理課 課長補佐	川 崎 智 明	危機管理課 係	笠 井 達 裕

○傍聴者 1名

○報告

- ・令和7年度の消防団活動について

○議題

- (1) 出初式について
- (2) 消防団活性化計画の見直しについて

○議事録

令和7年11月18日 午前9時55分 開会

- ・令和7年度の消防団活動について

事務局 説明

議題（1）出初式について

事務局 説明

(議長)

1月は式典のみで、放水は後日やるということですね。

(事務局)

4月の辞令交付式にあわせて行いたいと考えています。

(消防委員)

伝統ある出初式ですので、式典だけでもやっていただいた方がいいかと思います。ただ、正月から出たくない団員もいるかと思いますので、こういった形でやっていただいた方が団員の出席者も増えるんじやないかと思います。

世代が変わるとあわせてやり方もえていかないといけない。各地域悩みもあると思いますが、それ以上に人員の確保が一番大事だと思うので、少しでも出席者が増えるようにしていかなければならぬと思います。

(消防委員)

出初式はやはり伝統行事なので、やめるのは簡単ですがその後復活させるのは難しいと思いますので続けた方がいいかなと思います。出初式には放水が付きもので、それを楽しみにしている市民もいらっしゃるかと思います。美濃加茂市も放水をやめると決まったとき、楽しみにしている市民から「なんでやめるんや」というような声もありました。安全競技大会のように、全分団が放水するのではなく希望する分団だけ集めてやるといったやり方ができないかなと思いますが、そうすると消防車両が少なくなり見栄えが悪くなるといった問題も出てくると思うので難しいとは思いますが。

式典はやるということについては賛成です。

(消防委員)

みなさんがおっしゃるとおり、出初式は一度やめてしまうと復活するのが難しいと思います。

今まで表彰式を行い、その後放水を行っていましたが、表彰式は代表受領者のみの参加でした。今回は出初式を表彰をメインとして行い、表彰対象者全員に案内し、来ていただき、団員をしっかりと表彰したいと思います。

放水については4月の辞令交付式で行うことで、新入団員がそれを見ることができため、気合が入るのではないかと思っています。また、1月だと寒くて来づらい部分もあるのではないかと思いますが、4月なら暖かくなってきて桜も咲いていればいい写真も撮れるため、より多くの方が来ていただけるのではないかと考え、検討しております。

(消防委員)

確かに桜と放水の写真はSNS映えもするかもしれませんね。

(議長)

新入団員がポンプの使い方を覚えるにはいい機会だと思います。

(事務局)

補足説明します。

1月に放水をしないのは、団員の負担軽減という目的があります。

4月の辞令交付式で放水を行う理由としては、これまで新入団員が何もわからない中で辞令をもらっていたのみでありましたが、放水を行うことによって、実際にポンプ車やポン

プをさわることによって、これから活動していく新入団員にとって、消防団活動の意味を感じ取っていただけるのではないかと思い見直しをかけさせていただきました。

(消防委員)

前回の消防委員会で、出初式をやめることに反対しましたが、今回再検討していただき、実施するとしていただき、ありがとうございました。

(事務局)

お伝えしたとおり、出初式は式典のみの開催で考えております。毎年ですと文化会館の大ホールで開催していましたが、式典のみとなると表彰者のみをメインで行いますので、わくさプラザの多目的ホールやアピセ関で行うことを考えております。

逆に辞令交付式には一人でも多くの方に来ていただくことを目的としますので、文化会館で開催できないかと考えております。

議題（2）消防団活性化計画の見直しについて

事務局 説明

(消防委員)

全体的に団員は減ってきており、富野も今15名しかいない。先日地域の自治会等に来ていただき検討会を行ったが、前回はなくしてしまえという声が多かったが、今回は地域のために残した方がいいという意見が多く、防災に対する住民の意識が高まっていると感じました。

各地域の自治会長にも聞いてみたが、地域に若い人がいない。今後も若い人が増えることは期待できない。

じゃあどうするかを考えたときに、地域にいくつかある分団の班を、最低ひとつは残しておかなければならぬ、と地域の意識は変わってきています。若い人が0人となってしまうなら、隣の分団と合併するとか、団員をやめてまだ10年以内の人を中心に災害支援団員になつてもらうとかを考えていかなくてはならないと考えます。そのためには災害支援団員の定数を増やす必要もあり、市の予算等との関係もあるためなかなか難しいかもしれません、そのあたりも考えていかなければなりません。ですが、意識は高まっていると思います。

(事務局)

小金田・千疋、瀬尻・広見の分団長にはヒアリングを行っているが、各分団すべての団員にはまだ周知はしていません。また、地域の方々にも説明が必要です。

今後、危機管理課を中心に進めていきますが、それぞれ区制を敷いてらっしゃるため、各地域に足を運び、向こう1年でそれぞれの区に説明していきたいと考えております。

(消防委員)

同じ小学校区なら、団員も顔見知りがいると思うのでいい。また、サイレンが鳴る地域が広がるため機動力も強化できる。

(消防委員)

合併をするとなると分団名称の問題も出てきます。美濃加茂と同じ数字制とすれば解消されるため、そういったことも考慮していきたい。

(事務局)

今回はこの地区をあげましたが、先程話がありましたように、富野の事案もあるかと思い

ます。

現在の団員数は860人ですが、今後増えることはあまり期待できないと思いますので、組織の強化を考えるのであれば、隣の分団と手をつなぐという形をとっていくべきだと考えます。

また、常備消防の中濃消防組合との連携も出てきますので、動向も見ながら今後も継続して検討していきたいと考えております。

(消防委員)

常備消防もそうだが、合併して大きな組織となると起動力がアップし活動しやすくなるのでは、と思います。ですのでこの意見については、私は大賛成です。

(事務局)

その他何かございましたらご発言をお願いします。

(消防委員)

先日岐阜県操法大会を見に行きました。順位がつくのはしょうがないと思うが、関市の操法は非常に良かったと思います。今後も続けていただければと思いました。

(消防委員)

応援ありがとうございました。女性が出てくれたことも初めてのことですが、例年に比べ選手の年齢層が高かったです。これは消防団の現状です。有事の際には女性も参加しなければならないし、若い人だけでなくさまざまな年齢層の方も連携して災害に立ち向かっていかなければなりません。

操法は消防の基本ですので関市から操法をなくしたくないので、今後もこのような形で参加していくかと考えています。

(消防委員)

操法に興味を持ったため、神奈川県綾瀬市の操法大会を見に行きました。ショッピングセンターの隣の文化会館で行っていたので、買い物に来た一般の方も見に来てくれていました。また、少年消防クラブのテントもあり、こどもたちの声援も見ていると、将来その子たちが消防団員になってもらえたると思い、関市も少年消防クラブを招待することも考えていただけるといいのではないかと思いました。

令和7年11月18日（火曜日） 午前10時45分 閉議